

全国に自慢できる島根の農産物

農林水産部農畜産振興課

ぶどう（デラウエア）

●全国の地位

	1位	2位	3位	4位	全国計
栽培面積 (ha)	山形県 1,200	山梨県 718	大阪府 428	島根県 232	3,300
生産量 (t)	山形県 12,000	山梨県 7,180	大阪府 4,280	島根県 2,037	33,000

(特産果樹生産動態等調査(H19)より)

- デラウエアの生産面積 全国4位（ぶどう全体では15位）
- デラウエアの生産量でも同様に全国4位、全国シェア約6%
- ハウス栽培での面積・生産量は全国3位

●生産販売の特徴

- 県内の主要産地：出雲市、益田市、大田市、斐川町、雲南市、安来市
- 出荷時期、主な出荷市場：4月下旬～7月中旬
県内の各市場、東京、中京、京阪神、瀬戸内、九州の各市場
- 島根デラウエアの特徴：ハウス栽培が主体、早出しデラウエアとしての市場評価が高い
全県一元共販体制による有利販売を展開

●近年の動向

- 近年の消費者嗜好は、「巨峰」や「ピオーネ」といった大粒系ぶどうへシフト、デラウエアを中心とする小粒系ぶどうの生産は大きくダウン（全国 S57 約10,000ha → H19 約3,300ha）
- 島根デラウエアも、生産者の高齢化等とも相俟って、栽培面積は大きく減少、注目の新品種「シャインマスカット」の導入による産地再生を展開中！

アムスメロン

●全国の地位

	1位	2位	3位	4位	全国計
栽培面積 (ha)	千葉県 50.0	島根県 24.6	秋田県 15.1	長崎県 13	115
生産量 (t)	千葉県 1,222	島根県 410	秋田県 144	長崎県 280	2,350

(H21「全農全国本部調べ」より)

- 生産面積 全国2位（メロン全体では18位）
- 生産量でも同様に全国2位、（メロン全体のシェア 約0.6%）

●生産販売の特徴

- 県内の主要産地：益田市、雲南市、大田市、出雲市
- 出荷時期、主な出荷市場：5月下旬～8月中旬（春夏作）、10月下旬～11月下旬（秋作）
県内及び米子の各市場（85%）、京阪神の各市場（10%）
- 島根アムスメロンの特徴：全てハウス栽培による立体栽培で、1つる1果どりによる高品質アムスメロンとして市場評価が高い
全県一元共販体制による有利販売を展開

●近年の動向

- 大衆メロンであるアムスメロンの栽培面積は全国的に減少傾向
- 本県においても生産者の高齢化等が相俟って同様な傾向にあるが、品質を重視した島根アムスメロンは依然として消費者からの根強い人気！

わさび

●全国の地位（水わさび、畑わさび）

	1位	2位	3位	4位	全国計
栽培面積 (ha)	静岡県 147.7	島根県 77.4	長野県 58.2	岩手県 51.8	461.6
生産量 (t)	静岡県 1,305	長野県 1,041	岩手県 658	島根県 198	3,742

(林野庁 特用林産基礎資料(H20)より)

- 水わさびと畑わさびの合計面積で第2位、生産量で第4位
（水わさび：面積4位、生産量6位
畑わさび：面積1位、生産量3位）

●生産販売の特徴

- 県内の主要産地：益田市、津和野町、吉賀町など石見部の中山間地域

- 出荷時期、主な出荷市場：通年、畑わさびの9割が加工用原料として加工メーカーへ出荷
- 島根県産の特徴：水わさびは溪流式わさび田により栽培され、品質は全国屈指の上級品

●近年の動向

- 水わさびは、度重なる水害や高齢化、価格の低迷等の影響により栽培面積が著しく減少
- 畑わさびは、加工用原料として安定需要があり、施設・基盤整備等により生産量は増加傾向

ぼたん

●全国の地位

	苗木	鉢物	切り花	島根県計
栽培面積 (ha)	54	1.2	0.3	55.5
生産量 (千本)	973	123	5	1,101

- 全国1位の産地
(全国各地に小産地が存在)

(H21年産花き生産状況調査(農畜産振興課より))

●生産販売の特徴

- 県内の主要産地：松江市(大根島)
- 出荷時期、主な出荷市場：苗木 9～11月 オランダ、アメリカ、台湾へ輸出、国内メーカー 鉢物・切り花 11～5月 京都、金沢、九州
- 島根ぼたんの特徴：産地の歴史は長く、抑制、促成等の技術開発による通年栽培が確立品種が豊富で色彩豊かな、鮮やかな大輪名花を作出

●近年の動向

- 従来のアメリカ、ヨーロッパへの輸出に加え、近年では台湾、ロシアへの輸出を推進
- 高齢化、連作障害等により、栽培戸数、栽培面積、出荷量、生産額ともに減少傾向

トルコギキョウ

●全国の地位

	1位	2位	3位	・・・26位	全国計
栽培面積 (ha)	長野県	熊本県	北海道	島根県	46,600
出荷量 (千本)	長野県	熊本県	福岡県	島根県	111,400

- 生産面積、生産量ともに全国26位

(H20年産花き生産出荷統計(農林水産省)より)

●生産販売の特徴

- 県内の主要産地：奥出雲町、安来市、雲南市
- 出荷時期、主な出荷市場：6～12月、県内、東京、京阪神、広島の花き市場
- 島根トルコギキョウの特徴：島根県オリジナル品種(13品種)を育成、茎の硬いしかりした草姿で日持ちの良さが好評

●近年の動向

- 栽培戸数、栽培面積、出荷量、生産額ともに増加しており、H20年に生産額1億円を突破

薬用にんじん

●全国の地位

	1位	2位	3位	4位	全国計
栽培面積 (ha)	福島県	長野県	島根県	北海道	34.4
生産量 (t)	福島県	長野県	島根県	岐阜県	62.8

- 栽培面積、生産量とも国内3位

- 全国シェア約7%

((財)日本特産農産物協会「薬用人参に関する資料」(H18)より)

●生産販売の特徴

- 県内の主要産地：松江市(大根島)
- 出荷時期、主な出荷市場：通年、主に香港へ輸出
- 島根県産の特徴：「雲州人参」と呼ばれ最高級品として高い評価、一方で収穫までに6～7年間必要、連作障害のため同一圃場では10年間作付できない

●近年の動向

- 安価な中国、韓国産の生産拡大により国内産の需要が低下、栽培が長期に及ぶことや高齢化等により全国的に栽培面積が激減、全国合計では10年前の約1/7、県内では1/60にまで縮小